

いわみざわ次世代育成支援 後期行動計画の検証

(1) 計画の内容と目標値について

岩見沢市では、H16年度～H21年度を前期、H22年度～H26年度を後期とした「いわみざわ次世代育成支援行動計画」を策定し、子育て支援に取り組んでまいりました。

○後期行動計画の基本理念

「緑の中でいきいきと 子どもが 親が 地域が 育つまち」

岩見沢市の豊かな自然環境を有効に活用したまちづくりの一環として、基本理念を定めました。これを受けて、4つの基本的な視点、7つの目標を設定しています。

○基本的な視点

- ①子どもからの視点
健やかな成長を支援する基盤づくり
- ②保護者からの視点
子どもを生み育てることに喜びを感じる環境づくり
- ③地域からの視点
子どもとその保護者を地域で支え合う体制づくり
- ④事業者からの視点
子育て家庭に配慮した環境づくり

○施策の目標

- ①地域における子育ての支援
- ②母と子どもの健康の確保・増進
- ③子どもの教育環境の整備
- ④子育てを支援する生活環境の整備
- ⑤職業生活と家庭生活との両立の推進
- ⑥子ども等の安全の確保
- ⑦支援を必要とする児童への取り組みの推進

計画の推進にあたり、具体的な数値目標を設定し事業に取り組んできました。目標 9 項目のうち 8 項目については、達成（目標値を維持）できていますが、病児・病後児保育事業は現時点で実施に至っていません。

事業名	指標	H26 目標値	H25 実績値
通常保育事業	定員数	1,020 人	1,020 人
特定保育事業	設置か所数・定員数	1 か所・10 人	1 か所・10 人
延長保育事業	設置か所数	13 か所	13 か所
休日保育事業	設置か所数・定員数	1 か所・20 人	1 か所・20 人
病児・病後児保育事業	一日の受け入れ人数	6 人	0 人
放課後児童健全育成事業	設置か所数	17 か所	17 か所
地域子育て支援拠点事業 (センター型) (ひろば型)	設置か所数	3 か所・1 か所	3 か所・1 か所
一時預かり事業	設置か所数・定員数	2 か所・25 人	2 か所・25 人
ファミリーサポートセンター事業 (民間)	設置か所数	1 か所	1 か所

(2) 前期・後期のニーズ調査の比較について

H16 年度調査とH21 年度調査を比較し、それらが、現在のニーズと、また今後予測されるニーズとどのように結びついているのかを考えてみます。

○子育て家庭の特徴

H15 調査でもH21 調査でも、子どもの年齢が進むにつれて父との同居の率は下がっていきます。ひとり親世帯が全体の約 2 割と推測されていることから、そのほとんどが母子世帯ということがわかります。

また、同じく祖母との同居が伸びているのは、ひとり親の生活をサポートするという側面と看護・介護が必要になってくるといった側面の両方が考えられます。

※子どもと同居家族の状況

	同居家族	H15	H21
未就学	父	89.6%	90.6%
	祖母	16.0%	18.5%
就学	父	82.7%	82.0%
	祖母	19.1%	21.3%

○主な保護者の就労状況

H15 調査でもH21 調査でも、子どもが 0 歳の家庭では「以前は就労していたが現在は就労していない」と答えた方が約 40%でしたが、年齢が上がるにつれて就業率が高くなります。小学校 6 年生になると、約 8 割の保護者が働いています。

※主な保護者の就労状況

		H15	H21
未就学	全体平均	35.3%	42.2%
	5 歳児	46.5%	58.9%
就学	全体平均	58.2%	67.1%
	6 年生	66.3%	81.1%

○保育園、放課後児童クラブのニーズ

就労する保護者の増加は、休日保育や、保育時間の延長など多様な保育ニーズに結びつくとともに、放課後児童クラブの利用ニーズが伸びていることにもつながっていると考えられます。

※小学生の放課後の過ごし方

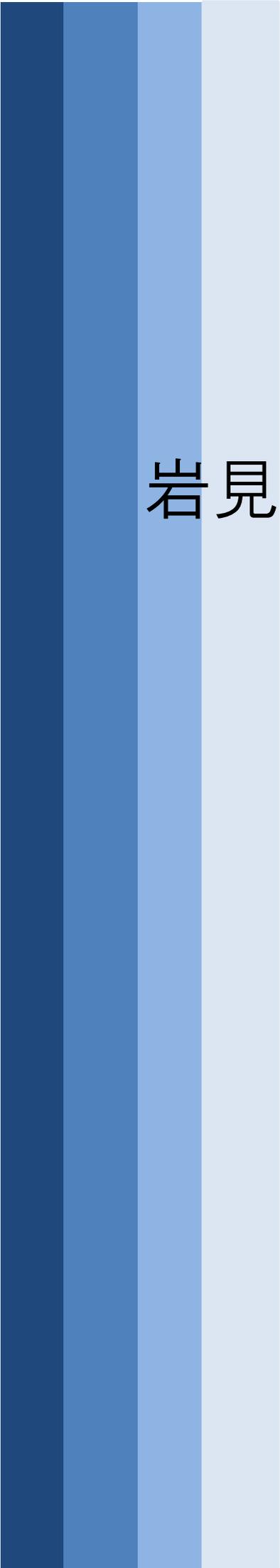
(放課後児童クラブ+児童館)

	学年	H15	H21
14 時～ 16 時	1 年	25.6%	36.9%
	2 年	17.2%	25.1%
	3 年	7.8%	28.3%
16 時～ 18 時	1 年	10.3%	20.2%
	2 年	6.7%	11.3%
	3 年	4.4%	17.3%

○子どもたちが健やかに成長するために

その他、過去 2 回のニーズ調査では、子育て中の家族にとって、経済的な負担、医療体制とともに、子連れでも出かけやすく楽しめる場所に対するニーズも高くなっています。

これらの岩見沢市の状況をふまえると、子どもと家庭に必要なサービスや環境を整えるなど、安心して子どもを育てられるための施策、子どもたちが健やかに成長できるような施策、「子育てするなら岩見沢」と思っただけのまちが子ども・子育て支援事業計画の目標になると考えられます。



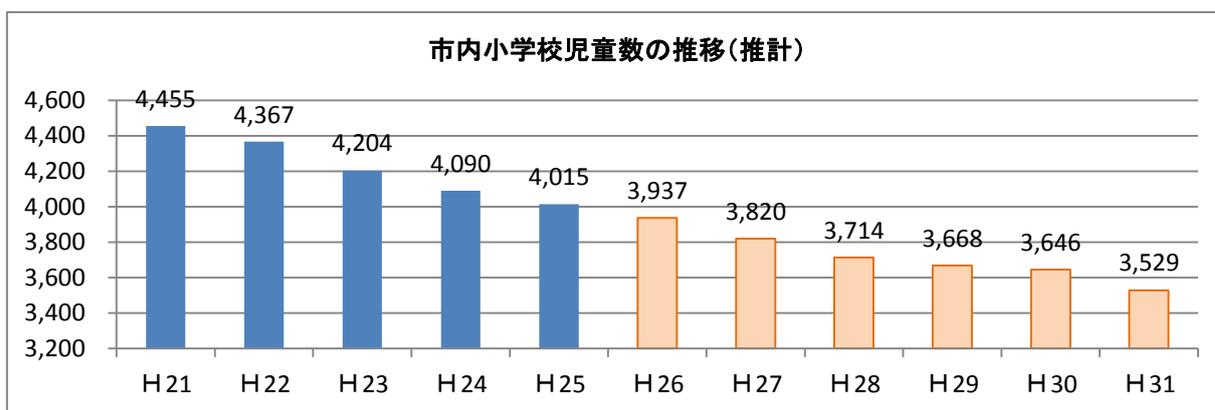
岩見沢市の現状と課題

(1)岩見沢市の子どもの数

岩見沢市で1年間に生まれた子どもの数は、次世代育成支援行動計画（前期）が策定されたH16年には604人で、人口1,000人あたりの出生率は7.2人でしたが、その後徐々に減少し、H24年には579人、人口1,000人あたり6.5人となっています。

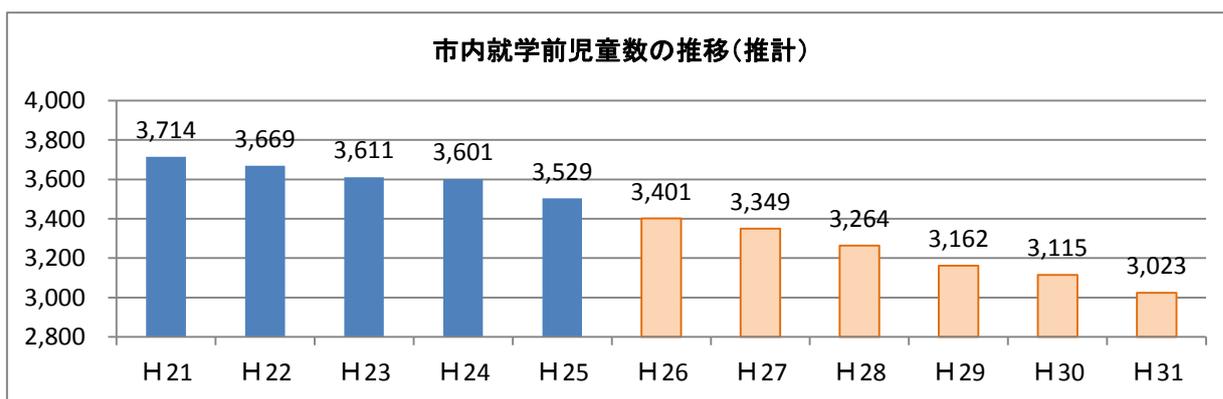
○小学校児童数の推移

H21年度からH25年度までの学校基本調査によると、小学校児童数は減少し続けており、現在4,015人いる小学生は、6年後のH31年度には3,529人まで減少することが予想されています。



○就学前児童数の推移

人口問題研究所による岩見沢市の将来人口推計をもとに、H31年の就学前児童数（0歳～5歳）を推計すると、3,023人となり、H25年現在の3,529人と比較すると、約500人減少する見通しとなっています。



○子ども・子育て施策への影響

就学前児童の減少は、保育所や幼稚園の運営、小学校児童数の減少は児童館や放課後児童クラブの運営に直接影響します。

子ども・子育て支援事業計画は、子どもの数の減少に注目しながら、減少スピードを緩やかにすることを目指しつつも、現実に向き合った施策を考えていく必要があります。

(2)市内幼稚園の状況

岩見沢市内には、6か所の幼稚園があります。

幼稚園は3歳児から5歳児までの子どもが、はじめて集団生活を体験する施設です。

たくさんのお友達とみんなで遊びながら、社会性を身につけることができます。

○市内幼稚園一覧

	施設名	幼稚園の実施する保育事業
私立	岩見沢天使幼稚園	夏休み、冬休み、春休みの期間も含め、すべての園で預かり保育を実施しています。預かり保育の実施時間は園により異なります。 また、未就園児が親子で集う広場なども実施しています。
	よいこのくに幼稚園	
	岩見沢めぐみ幼稚園	
	岩見沢聖十字幼稚園	
	駒沢幼稚園	
公立	すみれ幼稚園	

○特色ある幼稚園教育

それぞれの幼稚園には、送迎バスの有無や教育内容の特徴などがあります。

降園時間後に通常の保育時間を延長して行う「預かり保育」、障がいを持つ子を受け入れる「障がい児保育」のほか、未就園児の交流事業を行っている園もあります。

○幼稚園就園奨励補助

岩見沢市では、市民の方で幼稚園に就園させている3～5歳の子ども保護者の所得状況に応じて保育料等を減免する幼稚園に対し補助をしています。

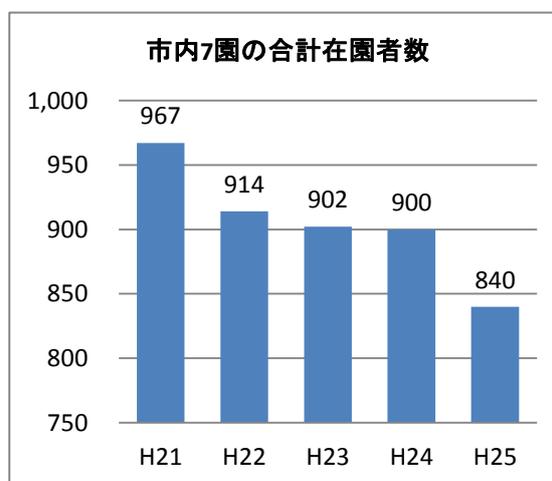
幼稚園保育料は、各幼稚園によって異なります。

○第3子以降の保育料等無料化

岩見沢市では、幼稚園保育料・入園料の保護者負担を軽減するため、H20年度から第3子以降の入園料と保育料に相当する額を保護者に支給しています。

○児童数の減少

学校基本調査によると、幼稚園児の数は、H21年度からH25年度の5年間で14%、127人が減っています。



(3)認可保育所と入所児童の状況

認可保育所とは、北海道の許可を受け、施設の設備や面積・保育士の人数など、国の基準に沿って運営されている保育所のことをいいます。

どの保育所も保育計画の中に幼児教育的要素を取り入れています。

○市内認可保育所一覧

	保育所名	定員	特別保育等の状況	H25 上半期 平均入所率%
公立	ふれあい子どもセンター	90	一時保育	56.9
法人立	なかよし保育園	60	地域子育て支援センター	117.8
	みその保育園	60		116.7
	日の出保育園	90	一時保育、特定保育	118.3
	みなみ保育園	90		106.3
	あかしゃ保育園	60		110.6
	さくらぎ保育園	60		120.3
	西保育園	90	休日	112.4
	幌向保育園	90		68.9
	中央保育園	90		106.1
	志文保育園	60		110.6
	みどり保育園	60		116.9
	ひまわり保育園	60		114.7
	東保育園	60	地域子育て支援センター	115.8

※乳児保育、延長保育、障がい児保育はすべての法人立認可保育所で実施しています。

○入所の状況

岩見沢市の認可保育所の入所定員は公立・法人立をあわせて1,020人です。

H25年9月末の入所人員は1,076人で、市全体の入所率は105.5%となっています。入所率が高いのは、さくらぎ保育園で定員60人に対し、入所児童75人、低いのはふれあい子どもセンターで、定員90人に対し53人となっています。

入所率120%が2年間続くと、定員の変更をしなければならないことになっています。

○待機児童

H25年10月現在、待機児童は発生していません。

○第3子以降の保育料等無料化

岩見沢市では、保育料の保護者負担を軽減するため、H20年度から第3子以降の保育料を無料としています。

(4)認可外保育施設等の状況

岩見沢市には、認可保育所の他にも、へき地保育所や認可外保育施設、事業所内保育所などがあります。

○へき地保育所

市街地から少し離れた地域に設置されている保育所で、認可保育の施設とは異なる保育所運営をしています。

へき地保育所は市が設置することになっています。市が運営委員会に委託をしているものと、公営のものとの2つの形態があります。

○認可外保育施設

認可保育所とは異なる独自の基準で、民間企業や個人などが運営しており、市内に5か所あります。

○事業所内保育所

従業員のお子さんを対象に、従業員の確保対策や福利厚生の一環として事業所で保育を行う施設で、市内に2か所あります。

○施設一覧

	施設名	備考
へき地保育所 ※H25年4月末 111人	朝日保育所	運営委員会へ委託、通年
	上幌向保育所	〃
	北村中央保育所	公営 通年（夏期・冬期）
	北村豊正保育所	〃 夏期
	北村幌達布保育所	〃 夏期
	美流渡保育所なかよし園	〃 通年
認可外保育施設 ※H25年4月末 178人	七条保育所	
	こっころ保育園	
	ファミリーサポート聖十字広場「ぼけっと」	
	ひよこクラブ	
	栗沢保育園	
事業所内保育所	乳幼児保育クラブそうさん 岩見沢中央ルーム	ヤクルト
	野宮病院保育所ほのぼの	野宮病院

(5) 市内児童館と留守家庭児童対策の状況

① 児童館

岩見沢市内には 12 館の児童館があり、子どもたちが自由に遊んでいます。利用対象は 18 歳未満となっていますが、利用者のほとんどは小学生です。

○児童館とは

児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与え、情操を豊かにするとともに、地域組織活動を育成助長するために設置されています。

S49 年に日の出児童館を整備したのを皮切りに、S61 年までの 13 年間で 11 の児童館を建設、H7 年に北真児童館を建設して、現在の 12 館となりました。

○学校からの距離

整備を始めた当初は、学校よりも住宅団地に近い場所が多く、日の出児童館は学校から約 1.5 キロの場所にあります。

一方、一番新しい北真児童館は学校に隣接した場所に建てられています。

○地域の交流施設

児童館には、研修室、図書室、遊戯室（体育館）があり、子どもたちが学校に行っている時間帯や夜間は、地域活動の場所として親しまれています。

地域活動やサークル活動に使用する場合は有料となっています。

○地域親子ひろば

H6 年に主任児童委員制度ができたことを契機に、児童館を主な会場として地域親子ひろばがスタートしました。

②留守家庭児童対策

放課後、家に保護者がいない小学校 1 年生から 3 年生までの児童を対象として、児童館を中心に「放課後児童健全育成事業」を実施しています。

また、市内には民営の放課後児童クラブがあり、障がい児の受入れも行っています。

○対象児童の拡大

児童福祉法が改正され、H27 年度から放課後児童クラブの対象が小学校 3 年生から 6 年生までに拡大されます。

対象の拡大については、市町村の実情に合わせて行うこととされていますが、どのくらいのニーズがあるかについては、今後のニーズ調査で把握したいと思えます。

○多様なニーズに応える

特色のある活動を行う 2 か所の民営の放課後児童クラブに対し、運営補助を行っています。

- ① おおぞらクラブ
- ② 放課後クラブ スキップ

(5)市内児童館と留守家庭児童対策の状況

○児童館施設概要

施設名	所在地	開設年度	対象小学校	学校からの距離
日の出児童館	日の出9丁目	S49	日の出小	1,466m
鉄北児童館	北2条西5丁目	S50	第一小	1,053m
春日児童館	総合公園41	S51	南小	1,383m
美園児童館	美園5条7丁目	S52	美園小	423m
志文児童館	志文町205	S53	志文小	496m
幌向児童館	幌向北1条2丁目	S54	幌向小	1,031m
利根別児童館	5条東13丁目	S56	岩小	1,193m
東・栄児童館	栄町1丁目	S57	東小	1,191m
稲穂児童館	7条西22丁目	S57	中央小	1,473m
上幌向児童館	上幌向北1条	S58	第二小	1,253m
中央児童館	5条東2丁目	S61	岩小・南小	704m・586m
北真児童館	稔町35番地	H7	北真小	65m

○放課後児童クラブの利用状況(H24実績)

施設名	利用定員	登録児童数	利用児童数/日	うち留守家庭児童/日
日の出児童館	70人	65人	30.4人	27.0人
鉄北児童館	70人	80人	42.8人	33.1人
春日児童館	70人	39人	22.6人	17.7人
美園児童館	70人	71人	50.4人	36.7人
志文児童館	70人	48人	28.4人	24.4人
幌向児童館	70人	37人	19.2人	16.7人
利根別児童館	70人	26人	20.9人	16.4人
東・栄児童館	70人	53人	29.9人	22.5人
稲穂児童館	70人	45人	28.5人	19.2人
上幌向児童館	70人	32人	20.2人	14.2人
中央児童館	70人	40人	26.4人	24.0人
北真児童館	70人	39人	23.3人	18.8人
美園小放課後ク	20人	18人	10.7人	10.7人
来夢21子ども館	70人	80人	49.3人	42.6人
北村のびのびク	70人	60人	22.6人	22.6人

(6)岩見沢の子育て支援

① 子育て支援センター事業

子育てに関する相談はもちろん、リフレッシュ事業や、いろいろな子育てのあり方を知る楽しい活動も行っています。

市内には3か所の子育て支援センターがあります。

*いわみざわ子育て支援センター

【相談事業】

○来所・電話相談の件数

H24 件数

子育て相談 1,060 件

家庭・児童相談 665 件

○おしゃべりルーム(月4回)

ばぶばぶ(妊娠中～生後8か月)

とことこ(9か月～1歳2か月頃)

H24 参加者

45回 1,097組、2,196人

○青空広場(年1回)

H24 参加者 95組 212人

【支援事業】

○リフレッシュ支援(年1回)

H24 参加者 16人、託児14人

○あそびの広場パパといっしょ(年1回)

H24 参加者 28組 58人

○ベビーマッサージ講習会(年7回)

H24 参加者 83組 168人

○子育てサポーター育成講座(年1回)

H24 参加者 11人

*なかよし保育園『子育てサロン室』

【相談事業】

○来所・電話相談の件数

H24 件数 172件

【支援事業】

○親子ふれあい行事

H24 参加者 年間13回 818人

○子育てサークル支援

H24 実績 6サークル 延5,594人

○子育て研修会

H24 参加者 7回 169人

*東保育園『子育てルーム』

【相談事業】

○来所・電話相談の件数

H24 件数 140件

【支援事業】

○親子ふれあい行事

H24 参加者 年間53回 1,262人

○子育てサークル支援

H24 実績 4サークル 延1,676人

○子育て研修会

H24 参加者 11回 216人

(6)岩見沢の子育て支援

② 子育て親子ひろば

未就学の子どもと保護者が交流する場所として、地域の児童館などで開催する地域親子ひろばと、常設型子育て親子ひろば「ひなたっ子」があります。

親子ひろば名	開催日
利根別	第2第4水曜
中央	第1第3木曜
いなほ	第1第3金曜
みその	毎週金曜
みなみ	第1第3火曜
ふれあい	第2第4木曜
あかしや	毎週水曜
ほくしん	第2第4木曜
東・さかえ	毎週木曜
日の出	第2第4火曜
ほろむい	毎週火曜
かみほろ	毎週水曜
しぶん	第2第4金曜
きたむら	第2第4火曜
くりさわ	第1第3火曜

○地域親子ひろば

H6年に主任児童委員が中心となって、地域の児童館などを会場に開設しました。

対象は未就学児と保護者

開設時間は10:30～12:00

H24 利用者数 4,933人

○常設型子育て親子ひろば「ひなたっ子」

地域親子ひろば利用者の、常設型を望む声をうけてH16年に開設しました。

H24年度に、郊外から中心市街地に移転したことにより、利用者が1.6倍になりました。運営には民生委員・児童委員が参加しています。

対象は3歳以下の幼児と保護者

開設時間は 10:00～12:00

13:00～16:00

H24 利用者数 15,280人

③ 産前産後ヘルパー制度

産前産後の子育て家庭の身体的・精神的負担を少しでも軽くするために、無料でヘルパーを派遣する事業で、産後6か月以内に10日間有料でヘルパーを派遣していた「新生児ヘルパー派遣事業」にかわりH25年度からはじまりました。

○利用できる方

岩見沢市にお住まいの出産前・出産後の子育て家庭

○利用期間

妊娠届時からお子さんが1歳になるまでに20回 40時間

○申込・利用状況

H25年9月末現在

申込45件（うち双子3件）

延利用回数 274回 539時間

この事業をきっかけに、地域の民生委員児童委員が子育てを支援する事例も生まれています。

(6)岩見沢の子育て支援

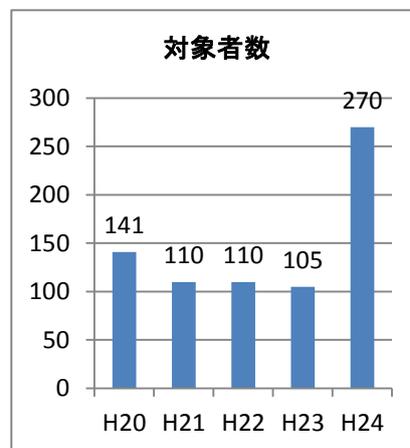
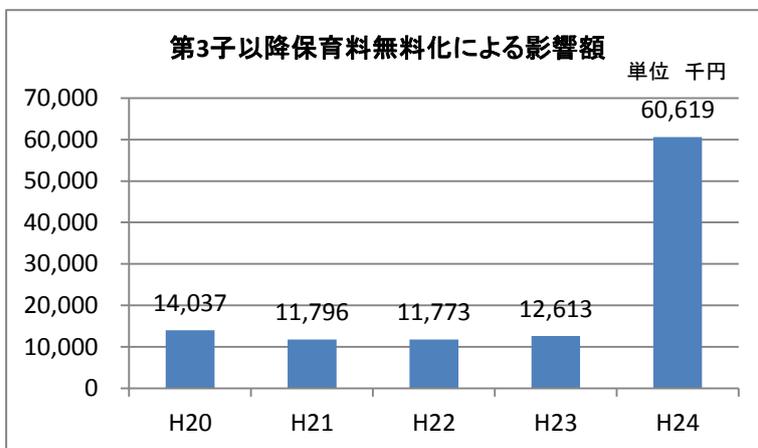
④ 保育料第3子無料化

保育料の保護者負担を軽減するため、H20年度から第3子以降の保育料（保育園・幼稚園）を無料にしています。

○影響額

第1子の数え方は、国の制度では就学前児童からとされているのに対し、H23年度までは小学校3年生から、H24年度には18歳未満からにするなど制度を拡大してきました。

今後、所得階層別の利用状況などの分析を行い、子育てしやすい環境のありかたを考えていく必要があります。



⑤ 要支援家庭の状況

チャイルドホットライン（要保護児童対策地域協議会）が対応した、要支援家庭への対応を検討するケース検討会議は、過去5年間10件から15件で推移してきましたが、H25年度は10月末現在ですでに12件となっています。

○ケース検討会議の傾向

ケース検討会議を開催した案件のうち、児童虐待通告によるものは年間1～3件ほどにとどまっており、H25年度については、まだ虐待と認定された事例はありません。

そのほとんどは、保護者がうつ病やアルコール中毒などの精神疾患を抱えて、育児困難である、母親や家族に知的障がいがあり、子どもを育てるということが

よく理解できない、愛情はあってもうまく世話ができないといった、ネグレクト予備軍的な家族です。

これらの家族を支援するためには、子育て支援センターと児童相談所・保健所等関係機関との連携はもとより、民生委員・児童委員といった地域の見守り協力が重要になってきます。

(6)岩見沢の子育て支援

⑥ つみき園、ことばの教室

障がいの早期発見と早期療育をめざし、子ども発達支援センター「つみき園」やことばの教室が、子どもたちの成長を支えています。

○つみき園

市は、岩見沢市社会福祉協議会が運営する「つみき園」を子ども発達支援センターに指定しています。

つみき園では、障害者総合支援法に基づく通所支援事業を実施するとともに、子どもたちのつまづきに早い段階から気づき、手助けすることによって子どもの成長をささえることができる発達支援事業もおこなっています。

H24 利用者数 延 2,727 人
1 日平均 12.0 人

○ことばの教室

幼児ことばの教室は、ことばの発達が気になる就学前の幼児が、安心して小学校入学を迎えることができるよう、一人ひとりに応じた訓練や指導を行い、ことばの育ちを支援しています。

また、小学校入学後も継続した訓練が必要な場合には中央小学校と栗沢小学校の2か所で指導を行っています。

H24 利用者数 延 793 人
1 日平均 12 人

⑦ ひとり親家庭の状況と支援制度

子育て家庭にとって、経済的・社会的安定は、子どもの成長にとって大切な要素です。しかし、ひとり親家庭は経済的に不安定なケースが少なくありません。

○ひとり親家庭の状況

児童手当の受給者数は、約 5,200 人、ひとり親の経済的支援を目的にした児童扶養手当の受給者は約 1,050 人で、対象児童の年齢が違うことなどから単純に比較できないとはいえ、約 2 割の子育て家庭が経済的に不安定な状況にあることが予想されます。

そこで、ひとり親世帯が経済的・社会的に安定した生活を送ることができるよう、右記のような生活支援(①～④)や就労支援(⑤～⑥)を行っています。

①児童扶養手当

H24 受給者数 1,051 人

②ひとり親家庭等医療費助成

H24 受給者数 2,574 人

③母子寡婦福祉資金の貸し付け

H24 実績 238 件

④ひとり親家庭就学援助金給付

H24 実績 年 8 万円 10 人

⑤母子家庭自立支援給付事業

H24 受給者数 12 人

⑥ひとり親家庭等在宅就業支援事業

H24 訓練生 50 人

(7)子ども・子育てに関する課題

岩見沢市の現状をふまえ、子どもと子育てに関する課題を、幼児期の教育と保育、子ども、子育ての3つの観点から9項目に整理してみました。

【幼児期の教育・保育】

① 認可保育定員と保育の認定条件について

現在認可保育所の入所定員は公立を含め1,020人。9月末現在法人立保育園の入所率は平均110%、幌向保育園の70%を除き、106%~120%だが、今後5年間で就学前児童数が約3,500人から3,000人に減少することが予想される。認可保育所の利用率は約30%という状況で、1,020人の定員を割り込むことが予想される。

関連資料	2 - (3) 認可保育園と入所児童の状況	P 5
------	-----------------------	-----

② 認定こども園制度と岩見沢の幼児教育・保育

認定こども園制度の導入についての具体的な動きは今のところ無い。また、ここ10年、子どもの数は減っているのに、保育所入所率は横ばいで、幼稚園経営に影響が出ることも予想される。幼児教育の継続のために必要なことは何か。

関連資料	2 - (2) 市内幼稚園の状況	P 4
------	------------------	-----

③ 小規模保育をはじめとする多様な保育サービス(認可外、病児・病後児)

現在、岩見沢の認可外保育施設は5か所。認可保育所に待機児童は無いという状況に認可外保育施設が寄与していると考えられる。今後、児童数が減少する中、認可外保育施設の役割とはどのようなものか。また、病児・病後児保育に対するニーズはどのくらいか。

関連資料	2 - (3) 認可保育園と入所児童の状況	P 5
	(4) 認可外保育施設等の状況	P 6

【子ども】

④ 放課後児童対策

現在、1~3年生を対象に児童館を中心に実施。登録児童と一般児童が一緒に過ごしている。今後、放課後児童クラブの利用対象が4~6年生へ拡大されることをふまえ、子どもの成長にあわせた対応も必要。高学年拡大のニーズ及び過ごし方はどうあるべきか。

関連資料	2 - (5) 市内児童館と留守家庭児童対策の状況	P7.8
------	---------------------------	------

(7)子ども・子育てに関する課題

⑤ 障がい児の早期発見・早期療育

乳幼児健診等により、軽度発達障害と思われる児童の早期発見が可能になっている。しかし、保護者が福祉サービスを受け入れることへの抵抗が大きく、対応が遅れがち。早期療育をかなえるためにどのような取り組みが必要か。

関連資料	2 - (6) ⑥つみき園、ことばの教室	P 12
------	----------------------	------

⑥ 幼児期からの遊びを通じた知力と体力の向上

幼児期の外遊びなど体を使った遊びが少なくなり、反射的に危険を回避する身体の使い方ができない児童が増えている。遊びを通じ、コミュニケーションなどの社会性を育むことも重要。幼児期に知力と体力をのばすためにはどのような取り組みが必要か。

関連資料	1 - (2) 前期・後期のニーズ調査の比較について	P 2
------	----------------------------	-----

【子育て】

⑦ 育児困難家庭の支援と児童虐待の防止

要保護児童対策地域協議会で取り扱うケースは、虐待に至るケースよりも、様々な理由により、それ以前の育児困難家庭が増えている。行政と地域が連携して見守っていくために必要な制度・施設とはどのようなものか。

関連資料	2 - (6) ⑤要支援家庭の状況	P 11
------	-------------------	------

⑧ ひとり親家庭の自立支援

子育て家庭には経済的・社会的な安定が重要だが、児童手当受給者数約 5,200 人に対し、児童扶養手当受給者は約 1,050 人。約 2 割の子育て家庭が経済的に不安定である。子どもの養育環境改善のために必要とされる、ひとり親家庭の自立支援策とはどのようなものか。

関連資料	2 - (6) ⑦ひとり親家庭の状況	P 12
------	--------------------	------

⑨ 子育てストレスの解消

子育て支援センターや親子ひろばを中心に子育て家庭に対し様々なサービスが提供されているが、子育てに対する不安やストレスの解消にどのような効果があるのか。提供しているサービスは、ニーズに合っているのか。

関連資料	2 - (6) ①子育て支援センター事業	P 9
	②子育て親子ひろば	P 10
	③産前産後ヘルパー制度	P 10